



福島の子どもたちとともに・世田谷の会  
(最終報告 2016/05/29)

あれから5年、  
当会はよくやってきた。

しかし、福島の子を世田谷  
で一時的リフレッシュするだけ  
でよいのか……

# 三つの課題

1. 福島での仲間づくり、拠点づくりを応援する
2. 健康不安が深まってきている
3. 世間から忘れられる

# 1.福島での仲間づくり、 拠点づくりを応援する



## (1) 拠点の確保

猪苗代の「ぽかぽかハウス」の存続に協力  
国際環境NGOの  
FoE Japanの運営に協力した



猪苗代の「ぽかぽかハウス」

# 建物の整備と放射能調査、除染



## (2) 仲間づくり

「ぽかぽかハウス」で「準備会」を5回開催した。  
また郡山市内で1回開催した。





会津磐梯山を見ながら公園遊び



神社の巨木



近くのスキー場で草すべり



雪で遊ぶ

つい先日、  
2016年5月7日

私たち  
**「ぶくぶくの会」**  
をつくりました



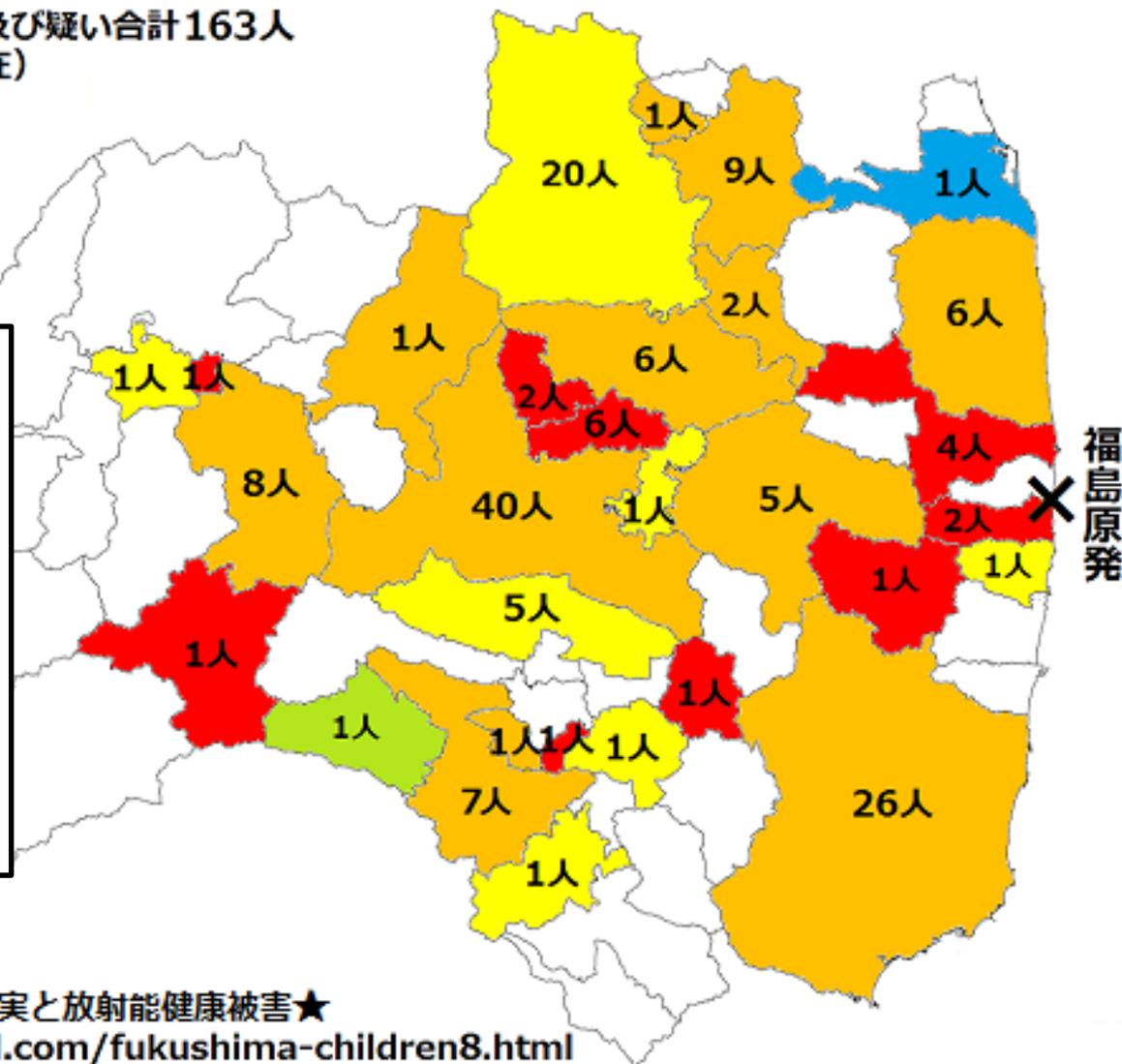
## 2.健康不安が深まってきている

福島県小児甲状腺がん及び疑い合計163人  
(2015年12月31日現在)

- …1人～999人に1人が発病
- …1000人～1999人に1人が発病
- …2000人～2999人に1人が発病
- …3000人～3999人に1人が発病
- …4000人～6999人に1人が発病

38万5000人のうち  
甲状腺がんと診断  
166人

そのうち手術済み  
117人 (うち良性だ  
ったのは1人のみ)



作成：福島原発事故の真実と放射能健康被害★

<http://www.sting-wl.com/fukushima-children8.html>

2016年3月の春リフレッシュ(3泊4日)の際、希望者を相模生協病院にお連れし、甲状腺検査などをしてもらった



ベラルーシでも診療活動を行っていた牛山元美医師に検診をしてもらった。

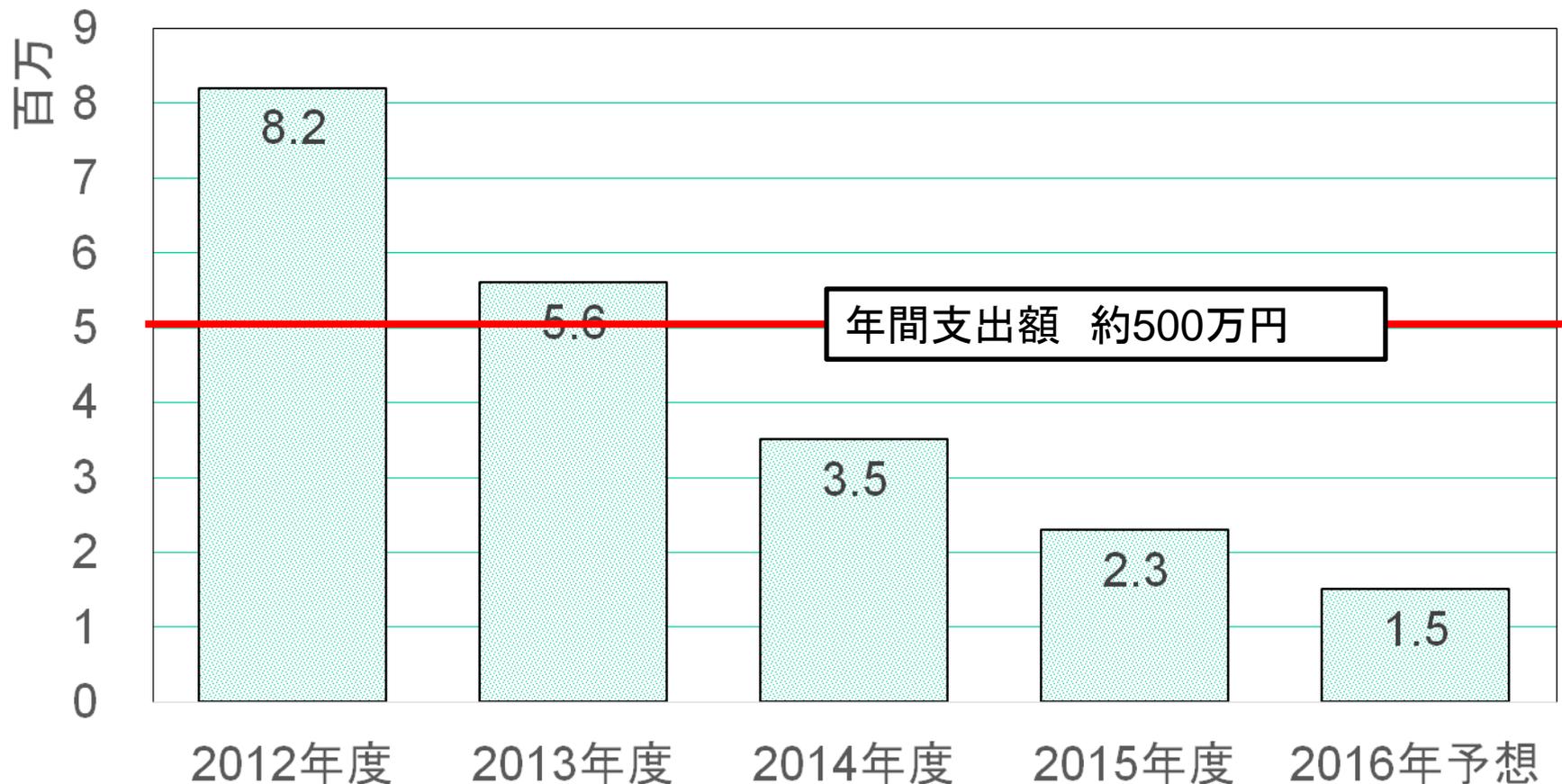


牛山元美医師「甲状腺がん家族の会」の世話人。



# 3.世間から忘れられる

寄付金収入の推移(百万円)



区内外の組織、個人が関わ  
れる仕掛けをつくること

# (1) 大学と一緒に企画に取り組む

2015年6月(学期中)に2泊3日  
で**深沢の日体大**に宿泊

日本体育大学  
Nippon Sport Science University



**南相馬の  
私立保育園**

年長さん13名と  
保母さん3名



ダブルダッチの名門サークルと

## (2) 民間組織と一緒に企画する



下北沢の金子ボクシングジム  
で記念撮影



# 2. 世田谷区 への還元

この活動を通じて  
世田谷内の人材育成と、  
区内組織連携の輪を広げることで  
災害に強いコミュニティをつくることに寄与

# (1) 世田谷区内の若い世代の社会活動の場



若いボランティアが、福島みなさんに挨拶をする



日体大生



駒大生が勉強をみる



中学生ボランティアも活躍



## (2) 日体大との連携の実績が出来た



砲丸投げ



宿舎を無償提供頂けた



学食で夕食



見学



日体大の副学長にお礼の挨拶

# (3)「せたがや防災NPOアクション」 を通しての連携の広がり

当会も「せたがや防災NPOアクション」に加わった。  
NPO法人せたがや移動ケアの「そとでる」さんに  
宿舎間の自動車移動を協力頂いた。



そとでる

世田谷区福祉移動支援センター

## (4) 一般区民向けの講演会を開催

### 「放射能から子どもを守る 地方自治からできること」

- ・松本市の菅谷市長  
(ベラルーシで甲状腺がん治療に  
従事した医師)
- ・まつもと子ども留学  
理事長 植木宏
- ・保坂世田谷区長



ご清聴ありがとうございました。ファン্ড支援ありがとうございました。

